

令和元年度 地球温暖化防止講演会

アマモ場と ブルーカーボン

～海辺が持つはたらきを知る～

「ブルーカーボン」という言葉を知っていますか？

地球温暖化の緩和策として近年注目されている、アマモ場など海辺の生態系が持つはたらき(機能)について、国内外の研究をリードする研究者の方からお話いただきます。

私たちに身近な大阪湾のアマモ場と、そこに暮らすユニークな生き物たちも紹介し、多様なはたらきを持つ海辺の自然環境の保全・再生の重要性について考えてみましょう。

12月7日(土) 14:00～16:00

会場 大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室
(大阪駅前第2ビル 5階)

対象 どなたでも

参加料 無料(要申込み)

定員 50名 申込み多数の場合は抽選



5階へは館内エレベーターをご利用ください

第1部：大阪湾のアマモ場とそこに暮らす生きものたち 和田 太一

海中に広がる草原「アマモ場」はたくさんの生き物を育む「海のゆりかご」です。大阪湾ではアマモ場は一時期見られなくなりましたが、最近再び増えて広がりつつあります。大阪湾のアマモ場とそこに暮らすユニークな生き物たちの世界を紹介します。



第2部：「ブルーカーボン」ってなあに？ 桑江 朝比呂

地球温暖化の原因の一つが大気中の二酸化炭素。これを吸収するはたらきを持つ生態系は、これまで森林あるいは外洋と考えられてきました。しかし近年、海辺の様々な生態系でも二酸化炭素を効果的に吸収していることがわかってきました。「ブルーカーボン生態系」と呼ばれるようになったこの海辺の生態系の重要性について紹介します。

【講師プロフィール】



和田 太一（わだ たいち） 一般財団法人 環境事業協会

1981年大阪府出身。中学生の頃から野鳥観察を始め、干潟にハマる。大阪湾や西日本各地の干潟で地元の方々と一緒に干潟の調査保全活動を行っている。ここ数年は大阪湾のアマモ場に暮らす生き物の多様性に惹かれ、大阪湾のアマモ場の生き物リスト作りを目標に調査を続けている。



桑江 朝比呂（くわえ ともひろ） 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長

1970年東京都出身。学生の時は大阪湾の植物プランクトンを研究。現在の研究所に就職後は干潟の生態系（微生物から鳥類まで）を研究していたが、ここ10年ほどはアマモ場、コンブ・ワカメ場、サンゴ礁、マングローブなど、さまざまな生態系におけるブルーカーボン（炭素の循環）の研究が中心。

申込み締め切り **11月24日(日)** (※11月25日に抽選を行います。)

お申込み方法・お問い合わせ

協会HP・電話・FAXにて申込み受付します。

●協会HPからの場合

「環境事業協会」で検索

新着イベントから「地球温暖化防止講演会」のページをご覧ください、
申込みフォームからお申込みください。

●お電話の場合（平日 9:00～17:00 受付）

06-6121-6407

「普及啓発課 地球温暖化防止講演会担当」まで

●FAXの場合（右の申込書をご利用ください）

06-6264-8181

※申込締切後、厳正なる抽選を行い、結果をメールまたはハガキで通知いたします。締切後1週間経っても通知が届かない場合は、お手数ですが上記電話番号までお問い合わせください。

一般財団法人
環境事業協会
Institute for Environmental Management

本社：〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目16番13号堺筋ベストビル9階

FAX申込書 以下の必要事項をご記入のうえこの用紙ごと送信してください。

■私は【個人情報に関する取扱いについて】同意します。		
フリガナ		
お名前		男・女
〒		
ご住所		
電話番号		
FAX番号		
参加のきっかけや、チラシの入手場所など記入ください。		

【個人情報に関する取扱いについて】 個人情報保護管理責任者・(一財)環境事業協会 総務部長

ご記入いただいた個人情報は、参加申込みに関する申込受付、保険加入、各種連絡（当協会主催のイベント等の案内などを含む）のために利用する目的で使用します。開催当日に写真撮影などを行い撮影した写真の一部を実施報告として、当協会のホームページ等に公開する場合があります。本事業の達成に必要な範囲において一部事業を委託する場合があります。個人情報の開示・訂正・追加・削除等に対応いたします。
連絡先：一般財団法人環境事業協会 総務部総務課 TEL:06-6121-6403(代)

